

本県産出の木炭は近年中央市場に非常な盛價を上げて殊に地の利を占むる瀬通物の如き縣營検査後の躍進は實に目醒しいもので曾ては場邊ひものとして取扱はれた零以下の位置から其の統一された品質と値頃も好割合である關係の特に最優等のものもないが劣悪なものもないと云ふ一般的定評を受けた大衆向として歓迎されつゝある勢ひは先進地を退けて東部多數の問屋筋より大なる注目を拂はれてゐるので此の際の努力が本縣木炭の消費に至大の影響あるものとなし當局では品質の改良を以て帝都の問屋五十名の本を視察される筈で縣木炭同業組合東京販賣部所等の後援に歓迎の諸準備中であると第一日(七月二十二日)川俣(福島)宮城白石着泊第三日(二十二日)本縣濱通り原町着前九時發川前小野新町

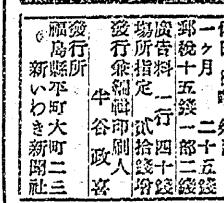
十日から三日間縣下の主產地石城は四石五斗以上その他の益々力を注がれてゐる折柄東京薪炭日々新聞主催を以て帝都の問屋五十名の本を視察される筈で縣木炭同業組合東京販賣部所等の後援に歓迎の諸準備中であると第一日(七月二十二日)川俣(福島)宮城白石着泊第三日(二十二日)本縣濱通り原町着前九時發川前小野新町

午前十時半自動車で浪江(正午)夜の森同地午後五時十二分發平着泊(反當收量四石五斗)◆江名町

平町篠田高島亥之吉耕作六坪刈總量三貫四十匁一升重五三七匁〇五(反當收量四石五斗)◆江名町

下神白及川富士太郎耕作六

名で賦課額は千六百二十八署からの指名照會で同日午後



休日 日曜祭日

一ヶ月

一

